

文芸の世界

川柳
(575)

嵯峨 待女
こんなとき生きる力をくれた人
四捨五入すれど帳尻合わぬまま
子に見せる母の背いつも温かかった

三上 翠香
年毎の赤字に心落ちつかず
騒動に動かず眠る三歳児
老いて思うこんなとき子があつたなら

川柳愛好会
一月例会作品

深渡 汀女
着物着てはずむ心や初詣で
一本気の父は少しも動じない
こんなとき財布の紐を締め直す

川代三智男
進退で真価がわかる時のこと
イレブンの躍動ゴール突破する
真夜中の赤信号に自信なし

稲村 綾子
口をつきほとばしる言とどまらず
自分史に介護の苦悶書き残す
尻重く些細な事で動じない
瀬戸際の四捨五入は紙一重

加差野静浪
こんなとき旧友を信じて任せ切る
これだけは残して、置きたい日記帳
四捨五入いつも私は三の位置

「春はサツキでお花見」

新屋

清さん (77歳・堀内)



土曜
お花見

《245》

☆……昭和十八年ごろだった
と思います。沿海州のトロ
ール船に乗り、うんと苦労しま
した。☆……陸から三昼夜走っ
た沖の操業は、寝る時間が二時
間から三時間。時化がくれば船
は木の葉のように揺れて、それ
はつらい思いをすたなんす。☆
……イカ釣り船にも乗ったが
すう。☆……村に戻ってからは、
自営の定置さかだつて機関士を
十一年やりました。☆……今の
三倍はサグが捕れた時代で、良
い時代だった。☆……子ども
は一人だけだとも孫が四人い
で、全部で九人家族。家の中は
大にぎわいで(笑)。☆……俺
の楽しみは、ワガメの手伝いを
すたり、親戚を訪ねては話に花
を咲がせてお花見。(笑)。

久慈地域いのちを考えるシンポジウム 地域で取り組む自殺予防

久慈保健所は、久慈地域の健康課題のひとつである自殺の問題を住民の方々が理解し関心を持って、地域ぐるみで自殺予防対策に取り組むことを目的に次のとおりシンポジウムが開かれます。

◆日 時… 3月3日(月)13時15分～16時15分
(受け付け12時30分～)

◆会 場…久慈市文化会館 (アンバーホール小ホール)
久慈市川崎町17-1

◆内 容…基調講演「自殺予防の試み」慶応義塾大学保健管理センター教授 大野 裕氏

シンポジウムでは、保健所、もりおかいのちの電話、あしなが育英会、青森県名川町の方々にそれぞれの立場から自殺予防や取り組みについてお話しいただきます。

◆入場料…無料

◆問い合わせ・申し込み先…久慈保健所保健福祉企画課
(☎0194-53-4987 内線245)